

Title	当所の活動
Author(s)	
Citation	木材研究資料 (1979), 14: 134-136
Issue Date	1979-12-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/51214
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

当 所 の 活 動

(1977年9月～1978年8月)

講 演

第29回 日本木材学会大会

(昭和54年7月17日～19日、札幌)

伊東隆夫・竹元 宏・島地 謙：モウソウチクの生長に伴う木化経過

今村祐嗣・島地 謙・鈴木三男：刺針法による針葉樹各属の傷害組織の出現型

島地 謙・黒田宏之・伊東隆夫・角谷和男：スギの材質に及ぼす植栽密度の影響

山口和穂・伊東隆夫・林 昭三・島地 謙：圧縮あて材形成に対するオーキシシン輸送阻害剤の影響

高橋旨象・H. Lundström：顕微映画技法による軟腐朽菌のキャビティ形成過程の観察

高橋旨象：軟腐朽菌のキャビティ形成に及ぼす培地組成ならびに CCA 処理の影響

(木材生物部門)

前川英一・住吉則彦・越島哲夫：ジカルボキシルセルロースの調製とその性質

東 順一・西野直美・越島哲夫：ココヤシ中果皮の化学成分に関する研究 その1. ダスト部分とセンイ部分の差について

高橋信義・東 順一・越島哲夫：ヘシセルロース・リグニン結合体に関する研究 その1 アカマツ MWL 画分より得られる ヘシセルロース・リグニン結合体の性質について

夜久富美子・田中龍太郎・越島哲夫：LCC のスミス分解

稲葉和功・飯塚義富・越島哲夫：亜硫酸パルプ廃液より得られるシイタケ菌糸培養促進区分の分画

(木材化学部門)

藤本英人・中坪文明・樋口隆昌：ピノレジノールの合成

中坪文明・樋口隆昌：フェニルクマラン および β -0-4 構造からなる三量体リグニンモデル化合物の合成

片山健至・中坪文明・樋口隆昌：グアイアシルグリセロール- β -バニリン酸 エーテルの微生物分解

佐藤 惺：熱帯材利用に伴う炉体障害

(リグニン化学部門)

大釜敏正・山田 正：木材細胞壁の力学定数

師岡淳郎・山田 正：多孔複合体の弾性 (II)

松原 修・則元 京・山田 正：広葉樹材の誘電特性 I. 散孔材

牧 福美・則元 京・山田 正：内装材料の調湿特性

牧 福美・則元 京・山田 正：木質材料の湿度調節機能 VI

青木 務・山田 正：セルロースおよび木材の熱軟化 I

野村隆哉・山田 正：木材の X 線小角散乱と微細構造 (III)

則元 京・平林 靖・山田 正・白石信夫・横田徳郎・福岡正芳・古沢秀二：セルロース誘導体の物性 I 飽和脂肪酸セルロースエステル同族体の誘電緩和と分子運動

平林 靖・則元 京・青木 務・山田 正・白石信夫：セルロース誘導体の物性 II 飽和脂肪酸セルロースエステル同族体の熱軟化 (木材物理部門)

冬木敏夫・滝野真二郎・増田 稔・佐々木 光：木質パネルの曲げ性能

林 知行・佐々木 光：鋼板くぎ打ち接合部の疲労特性

増田 稔：木材および木質材料の視覚特性に関する研究 (第3報) —各種パターンの数量化と心理的イメージとの関係—

佐々木 光・山田 正・加藤昭二・井上章一：留加工による合板中空柱の製造と性質

高谷政広・佐々木 光：各種接着剤による木材接着の開口破壊じん性

南 正院・石原茂久・林 昭三：アスプルンドパルプ・MMA グラフトポリマー中の PMMA の分布

石原茂久：木質パネルの耐火性 (II) 2, 3 のパネル接合の耐火性について

(木質材料部門)

西本孝一（総合保存グループ代表）：木質材料の総合保存に関する研究（第1報）TBPによる防霉処理合板（その1）

角田邦夫，西本孝一，高橋旨象：表面処理による防霉性能 1. TBP の効力

木村忠雄，高橋旨象，西本孝一：走査電子顕微鏡による針葉樹腐朽材の縦引張破壊形状の観察

花岡千草，高橋旨象，西本孝一：木粉およびその酵素的分解に与える水蒸気加熱膨化処理の影響
（木材防霉防虫実験施設）

第34回 木研公開講演会

（昭和54年5月18日，大阪）

則元 京：マイクロ波による木材の塑性曲げ加工
（木材物理部門）

佐藤 惺：フィリピンにおける廃材・樹皮の利用と問題点
（リグニン化学部門）

佐々木 光：最近の内外における木質材料 開発の方向とシステム
（木質材料部門）

第24回 熱帯林業セミナー

“南洋材の見分け方”

（昭和53年10月26日，大阪）

島地 謙：南洋材の組織の機能と形態—南洋材識別上の理解を助ける為に—
（木材生物部門）

昭和53年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修（遺物保存科学課程）特別講義

（昭和53年11月14日，奈良）

島地 謙：木材組織の観察
（木材生物部門）

特定研究「古文化財」総括班年次報告会

（昭和53年3月14日～16日，東京）

島地 謙・林 昭三・伊東隆夫：遺跡から出土した木材および木製品の研究
（木材生物部門）

第29回 日本木材学会大会，生物劣化研究会

高橋旨象：表面処理（塗布，浸漬）用木材防霉剤の防霉効力試験方法—菌種・耐候操作・処理条件
（木材生物部門）

日本木材保存協会第1回通常総会特別講演

（昭和54年5月30日，東京）

高橋旨象：ヨーロッパにおける木材保存
（木材生物部門）

The ACS/CSJ Chemical Congress

（Honolulu, Hawaii April 2-5, 1979）

T. Koshijima, R. Tanaka, F. Yaku and J. Azuma:
Hemicelluloses extracted with dimethylformamide from finely divided wood of *Pinus densiflora*
（木材化学部門）

J. Azuma, N. Takahashi and T. Koshijima:
Isolation and characterization of hemicellulose-lignin conjugate from *Pinus densiflora*
（木材化学部門）

T. Higuchi: Biochemistry of lignification
（リグニン化学部門）

M. Shimada: Biochemistry of lignin degradation with white-rot fungi
（リグニン化学部門）

第2回 糖質シンポジウム

（昭和54年7月19～20日，京都）

東 順一，高橋信義，越島哲夫：リグニン—ヘミセルロース結合体の構造と疎水性
（木材化学部門）

第23回 リグニン化学討論会

（昭和53年11月1日～2日，松山）

久津木英俊，島田幹夫，樋口隆昌：シナップ酸形成能の高いコノテガシワ *O*-メチル基転移酵素について

棚橋光彦，樋口隆昌：透析膜法による DHP の合成
野口明雄，島田幹夫，樋口隆昌：木材腐朽菌による針葉樹，広葉樹リグニンの分解にみられるシリニギル核劣化の優先性

島田幹夫，野口明雄，樋口隆昌：リグニン生分解への立体生化学的アプローチ：ラッカーゼのリグニン側鎖不斉構造に及ぼす非立体特異的酸化反応の意義

片山健至，中坪文明，樋口隆昌：グアヤシルグリセロール- β -コニフェリルエーテルの微生物分解（第2報）

岩原章二郎，西平 強，城森孝二，桑原正章，樋口隆昌：デヒドロジコニフェリルアルコールの酵素的酸化について
（リグニン化学部門）

日本材料学会，木質材料委員会

（昭和54年3月16日，京都）

佐藤 惺：フィリピンの木材工業と自然
（リグニン化学部門）

日本木材学会レオロジー研究会

(昭和53年10月4～5日, 長野)

則元 京, 山田 正: 木材の誘電特性と分子運動
(木材物理部門)

第5回 食品の物性に関するシンポジウム

(昭和53年10月27～28日, 堺)

角谷和男: 植物のレオロジー測定 (木材物理部門)
Special Seminar of the Western For. Prod. Lab., Canada (Oct. 3, 1978 at Vancouver)

H. SASAKI: Laminated Veneer Lumber Research and Development in Japan

中小企業庁開発研究普及講習会

(昭和54年3月16日, 奈良県林業試験場)

佐々木 光: 低質材の加工

日本木材加工技術協会関西支部講演会

(昭和54年6月28日, 大阪)

佐々木 光: 低質材加工の方向とシステム

集成材講習会講演

(昭和53年10月12日: 大阪)

西本孝一: 集成材の防霉防虫処理について
(木材防霉防虫実験施設)

合板部会講演

(昭和53年11月9日, 大阪)

西本孝一: 防虫合板について
(木材防霉防虫実験施設)

日本住宅木材技術センター講習会講演

(昭和54年1月8日, 京都)

(昭和54年1月9日, 姫路)

西本孝一: 建築木材の防霉防虫について
(木材防霉防虫実験施設)

しろあり対策協会中国支部講演

(昭和54年3月30日, 広島)

西本孝一: シロアリ防除薬剤について
(木材防霉防虫実験施設)

人事往来・その他

西本孝一: 昭和54年4月1日付で教授に昇任
(木材防霉防虫実験施設)

角田邦夫: 昭和54年5月1日付で助手に任官
(木材防霉防虫実験施設)

高橋旨象: Microfungi による木材劣化に関する研究調査のため, スウェーデン, ドイツ連邦共和国, 連合王国, カナダへ研修旅行 (昭和53年8月15日～昭和54年2月12日)

(木材生物部門)

佐々木 光: 木質材料の製造と性質に関する研究のためカナダおよび米国へ出張

(昭和53年10月1日～11月30日)

(木質材料部門)

S. Chow (当時 Head, Wood Adhesives and Composite Products Section, Western Forest Products Laboratory): 昭和54年2月16日来所, 研究調査と見学

黄 増 (韓国慶尚大学林学科教授): 昭和54年8月11日来所見学

佐藤 惺: 昭和53年10月28日～11月17日「東南アジア産未利用林産物の化学的利用に関する実態調査」のため東南アジアセンターよりフィリピンおよび香港へ出張 (リグニン化学部門)

佐藤 惺: 昭和54年4月1日～4月7日, 日本化学会第39回春季年会およびアメリカ化学会第177春季年会へ座長として参加 (抽出成分) のためハワイへ (リグニン化学部門)

Dr. W. G. Glasser (バージニアポリテクニク研究所, 準教授): 昭和54年4月16日～17日来所, 「コンピュータによるリグニンの化学構造の決定」について講演

Dr. J. French (連邦科学工業研究所建築研究部門, オーストラリア): 昭和54年7月3日来所, 見学